



福祉 ユーカリが丘

ユーカリが丘地区社会福祉協議会
 発行人 会長 坪松康隆
 編集 広報事業部
 〒285-0843
 千葉県佐倉市中志津2-32-4
 西部地域福祉センター内
 電話：043-460-1781
 FAX：043-463-4169
 事務局員勤務：火・水・金の13時～17時

北志津児童センター事業の支援として 成木餅のお手伝いに参加

志津コミュニティセンター 1月5日(金)

北志津児童センターに
 来ている子ども達や近隣
 の小学生達に交じって、
 よちよち歩きの幼い子ども
 達も一生懸命にお餅を
 丸めて、小さな小さなお
 餅がたくさん出来上がり
 ました。丸めたお餅が固
 まるまで、竹馬や竹とん
 ぼ、ベーゴマ、あやとり
 などの昔遊びをしました。



竹とんぼが上手な男性
 は、子ども達から「もう1
 回やって!」と何度もアン
 コールを受けてとても楽し
 そうでした。

今年1年の豊作と健康を
 祈りながら、丸めたお餅や
 みかんを木に飾り、かわい
 い成木餅が出来上がしまし
 た。

「成木(なりき)餅」は昔からの伝統行事で、栗の木の枝に
 紅白にまるめたお餅やみかんを飾り、五穀豊穡・厄よけを
 願った行事です。家の柱などに縛って飾ります。

民生児童委員とユーカリが丘

地区社協理事との意見交換会

2月18日(日)、22名の方に出席していただき、次の4
 議題を中心に意見を交換しました。

①地区社協活動について

・まず、ユーカリが丘地区社会福祉協議会(ユーカ
 リが丘地区社協)を地域の方にもっとよく知って
 もらう事。知らない人が多すぎるのでは。

・どなたでも利用できる場所をたくさん作り、地域
 の仲間作りのお手伝いをしていきたい。

②住民ニーズの把握について

・今現在進められている福祉活動計画は、住民座談
 会などから上がった住民からの声でありニーズで
 もある。具体的な活動はこれからだと思いが、地
 区社協の担う役割は大きいと思う。

③ボランティア活動について

・地区社協の活動に参加できる福祉委員が少ないの
 ではないか、ボランティアとして地域の方に参加
 していただいたらどうでしょうか。

・ユーカリが丘地区社協も今後、広く地域の皆様に
 ボランティア募集する事を検討しています。

④見守り制度(仮称)について

・民生や福祉委員ではなく、ご近所の方のほうで、
 受け入れられるし情報も入ると思うので、自治会
 単位で見守るのが良いのではないか。それには地
 区社協の役割も重要になると思う。

・世話やきおばさん、おじさんがどれだけいるかが、
 地域の見守りにとって大事な事だと思う。

その他多くのご意見をいただきましたが、次年度の地
 区社協の事業に反映させていきたいと思えます。地域
 全体で福祉を考えていきましょう。ご協力よろしくお
 願いいたします。

○今年度は、地区社協の活動が住民の皆さまに、少しでも身近に感じていただけるように留意するとともに、運営面でも責任体制を明確にし、実態に即した効率的な活動が出来るよう配慮しました。

・三世代交流会の実施主体の変更や支援事業部の設置など、組織運営上の見直しを若干行いました。

・各種の行事が地区社協の活動である事を理解していただけるよう、のぼり旗を作成し会場に掲示するとともに福祉委員は名札を着けることとしました。

・地区社協活動を支える福祉委員がお互いに信頼と協調が図れるよう、福祉委員会の開催方法を見直し、対話を重視した議事進行や着席になるよう配慮しました。

・ふれあい福祉バザーは15周年でもあり、友野さんの協力により振る舞い餅を実施し、参加者に大変喜ばれました。

○地域の福祉施設が充実されてきましたが、事業の展開のみならず活動の拠点としての利用も理解が得られ、地元企業、各施設との協調体制が整ってきました。

○日常生活について支援を求める声が増えてきましたが、地区社協としての対応体制が未整備であり、今後の課題として検討を深めていく必要があります。

○コミュニケーションを図る活動には前進が見られましたが、さらに

たまり場的な人の触れあう場所の拡大に対する要望も多く出されました。

○その他事業部毎に福祉委員の参加がアンバランスになりがちですが、計画を全体に知らせ所属する事業部以外にも、参加できるような配慮が必要だと思います。

○具体的なブロック別、事業部別活動についてのまとめは次の通りです。

第1ブロック

ブロック長 則武 広行

平成18年度の第1ブロック事業としては、『住民福祉懇談会』に始まり『敬老の集い』、小竹小学校との交流事業『ふれあい給食会』『お正月遊び交流会』を実施いたしました。3月には『みんなて考えよう地域の安全と福祉』として「ボランティアをしたいけど……」「私が体験したヒヤリ！ドッキリ！あなたも！」をテーマに身近で出来ること、身近な危険を話し合い、住民の方々と福祉委員とで何が出来るのかを話し合いながら、我々が出来ることを探っていく、19年度の事業活動に繋げて、住民に皆さん、各自治会、子ども会の組織と共に実施出来ればいいと考えています。

第2ブロック

ブロック長 石毛 寛

先ずブロック会議への出席率が良く、これは公私に多忙な人が多い中で

も地域福祉への参画意識の高さがあったのだと思います。

メインの活動となる、「敬老の集い」「住民福祉懇談会」「ふれあい昼食会」(3月実施予定)も、例年通りの運営であるが概ね満足して頂ける内容で出来たと思います。今後の方向としては、小学校区が2つに別れている地域事情をうまく利用する事や「ふれあい昼食会」は更に小区域での開催や対象者の拡大等の検討の必要性も感じられました。

次年度以降の課題として、従来活動を拡大する外に新しい要望(活動の多様性、担い手の継承等)への対応が求められている事も痛感しました。

第3ブロック

ブロック長 村上 茂夫

第3ブロックには志津ユーカリ苑・木の宮学園・さくら千手園・ユーカリ優都苑などの福祉施設が数多くあります。お年寄りをお招きして「春の昼食会」を皮切りに、「住民福祉懇談会」、「敬老の集い」、年間を通しての「青菅小学校の世代間交流事業」への協力等を実施してきました。「敬老の集い」では会場となる青菅小学校体育館入り口に段差解消のスロープ設置を設置していただくなど、小学校や地域の皆様から全面的な協力をいただきました。また、青菅小学校の「餅つき」が12月に予定されていましたが、ノロ・ウィルスが流行し、残念ながら中止せ

ざるを得ない結果になってしまいました。

今年の7月には、幼老統合施設「ユーカーい優都びあ」が当地区にオープンする予定であり、新たな施設を加えたブロックの事業を検討していきたいと考えています。

第4ブロック

ブロック長 村松 利雄

「敬老の集い」は運営面で若い人の参加を課題としてきましたが、PTAの協力をいただき将来的に社協を担う芽が育ってきました。また足の不自由な方には上座防犯パトロールのサポートが実施されるなど好評でしたが、宣伝が不十分であったとの反省もあります。

住民懇談会は、マンネリ化との批判もありますが、今後の地域福祉活動計画の具体化もあり必要性はさらに高いと思われます。100円喫茶は定着してきましたが、子連れの若い人たちの参加が課題であり、佐倉西高のボランティア参加は朗報でした。上座集会所での「正月飾り作り」は車椅子の方の参加もあり新しい試みとして、参加を増やす取り組みとしても有効でした。

交流事業部

事業部長 土谷 千穂

今年度は、「三世代交流会」と「お話しフェスティバル」を開催しました。どちらも大きなイベントでお手伝い

の方を集めるのに大変苦労いたしました。三代交流会は今年度で8回目を迎えました。まだまだ地域での知名度が低く、今回は初めて回覧で地域の方々に呼びかけを行いました。また、各老人会、100円喫茶、ふれあいサロン等にも個別に案内状を送り、より多くの方に参加していただくという新しい企画でスタートしました。その結果、総勢166名の参加があり、和やかな雰囲気の中あっという間の2時間でした。しかし、まだまだ問題点も多く、来年度以降の検討が不可欠です。

お話しフェスティバルは今回、12月に「クリスマス！お話しフェスティバル」と題し行いました。総勢286名の参加があり、楽しい時間を過ごして頂けたと思います。開催時期、お話しをして下さる方々の募集等、来年度に向けた課題があります。

今後、地域の方々が何を必要としているのかを考えながら、交流の場を提供していかなくてはならないと思います。

支援事業部

事業部長 田口 澄子

本年度より事業部として組織化されたことで現場の声が反映されるようになり、理事会との報告・相談・連絡がスムーズになりました。さらに各ブロックに支援グループ長が配置されたことや、「いきいきサロン」「100円喫茶」計6会場のリーダー会議を開催し

たことにより、ボランティアを含め横の連携も充分とれるようになりました。また、「100円喫茶」の会場拡大、閉鎖していた会場の再オープンなど自治会の協力を得ながら推進してきました。

児童センター支援(田植え、芋苗植え、稲刈り、芋掘り、成木餅)障害者児支援(ユーカーまつり千手園生サポート、千手会フェスタ実行委員・当日手伝い)などを行いました。さらに活動の輪を広げていくとともに、福祉活動計画についてはどの部分を担っていくのか検討し、来年度以降の活動につなげていきたいと思えます。

ボランティア事業部

事業部長 新倉 友子

子供体験ボランティアを地域のボランティア団体や企業の協力を得て実施し、清掃活動を通じて街の環境を大切にする意識の啓発と、ボランティア活動への参加の喜びを体験していただきました。地域の中で身近なところで、子供から大人まで何か少しでもお手伝いをしてみたい「自分に来ることが何かあるのでは」と思ったときに、やってみたいをやってみたいにしていけるような、気軽に参加できる体制をつくっていききたい。

さらに、福祉ニーズの担い手としてのボランティアに対する期待は、どのようなものがあるかなどについて研修を行いました。

先駆的事業部

事業部長 横井 勇

先駆的事業部は社会福祉協議会の事業目的の一つである、高齢者並びに障害者のための福祉活動の新しい分野を開拓すべく研究・開発を進めております。

今年度は6回の部会を開催し、「移動サービス」と「見守り制度」の実施に向け検討を重ねました。特に「移動サービス」については、改正道路運送法の実施(18年10月)もあり、市社協で実施中の「移動サービス」をユーカーが丘地区で利用しやすくする方法を検討中です。関係各機関と連携して出来るだけ早期に実現したいと考えております。今後も引き続きこの2つの課題に取り組んでいく予定です。

研修事業部

事業部長 氏原 強

個人活動では出来ない地域福祉のまちづくりを中心課題にして「地域住民による参画への関わり方」や「協力者づくりへの取り組み」に重点を置いた方針をたてました。

具体的には地域をもっと良くしたい願いからお互いに支え合うことが大切であり、単発的ではなくステッパアップしていけるような研修にしていきたいと考えました。

実施には、市社協の支援を進めている「福祉活動計画」並びに佐倉市

が中心になってまとめている「地域福祉計画」をテーマにした研修を行ってきました。

来年度はさらに発展させ、地域福祉を実践するために「福祉委員と市民との関わり方や仕組みづくり」また「自治会活動と地区社協の福祉活動による連携づくり」の一助になる研修事業を進めていきたいと思えます。

広報事業部

事業部長 菅原 喜美恵

『ユーカーが丘地区社協の活動を少しでも地域の方にPRするにはどうすれば良いか?』と言う想いから、今年度は5回発行を決めて頑張ってきました。

紙面のレイアウトを工夫して、見やすく読んでもらえる広報誌を常に考えながら進めてきましたがどうだったでしょうか?取材して原稿を書いたり原稿や写真を依頼したり、また、出来上がった広報誌を各自治会や地域の学校・関係機関に配布する作業等いろいろと大変な面は多々ありますが、やりがいのある活動なので楽しんでいきます。

ホームページに関してはまだまだ問題は山積みですが、納得がいくようなものを作っていこうと思っております。もし、ホームページ作りに興味のある方がいましたらご協力をお願いいたします。



平成18年度地区社協役員等・

ボランティア研修会に参加

敬愛大学佐倉キャンパス 2月15日

この研修は、佐倉市ボランティアセンター(佐倉市社会福祉協議会にあり)が企画した研修会で、講師は、住民の支え合いマップ(地図)作り等々有名で、住民福祉総合研究所の木原孝久さんでした。

身近なご近所同士、互いに助け合い支え合いながら生活していくのがいかに大切かを改めて考えさせられました。

そして、福祉を押し付けるのではなく、一人ひとりの要望やプライドを尊重し、その人らしく地域で暮らし続けられる方法話し合い見つけ出すことだと思いました。

午後は、各14地区社協に分かれ、地域にはどのような人がいてどんな課



講演会の様子



午後の様子



マップ作りをしている様子

題があるのかを、地図に書いて整理しました。今まで漠然と話していた課題も地図を使うことで見えてくるものもあり、とても参考になりました。

＊佐倉市ボランティアセンターは市役所4号館の社会福祉センター2階にあり、ボランティアに興味がある人だけでなく、ボランティアをお願いしたい人などボランティアに関する情報を気軽に聞ける場です。

佐倉市ボランティアセンターの電話番号は043-484-6198です。

100円喫茶4月～7月の開催予定

開催場所	開催日時 問い合わせ先	H19年 4月	5月	6月	7月
ユーカリが丘第一集会所 (461)7923	第4火 13:30～15:30 加藤 (461)3048	24	22	26	24
志津コミュニティセンター (487)6781	第3水 13:30～15:30 阿部 (461)3629	18	16	20	18
宮ノ台自治会館	第4火 13:30～15:30 中野 (461)7785	24	22	26	24
ユーカリ産産自治会館 (461)2589	第4土 13:30～15:30 下岡 (462)5627	28	26	24	28
ふれあいサロン ユーカリが丘五番町ハイツ集会所	第2日 13:30～15:30 宗 (463)3273	8	13	10	8
さわやかプラザ ユーカリが丘第二集会所	第2金 13:30～15:30 池村 (461)8127	13	11	8	13
憩いのふれあい喫茶 上座集会所	第2水 13:30～15:30 三井 (487)3262	11	9	13	11

赤ちゃんから高齢者までどなたでも参加できます。

1度のぞきにきてみませんか？

ボランティアさんも募集中です。

＊全ての会場が13時30分～15時30分に変更になりました。

1月から3月までの活動報告(抜粋)

- ・1/5(金) 成木餅(北志津児童センター事業への支援)
- ・2/3(土) 4地区社協合同研修会
- ・2/18(日) 民生・児童委員と理事との意見交換会
- ・3/11(日) 第4回福祉委員会

＊幸せの黄色いレシート

つてご存知ですか？

サティが始めた、幸せの黄色いレシートってご存知ですか？

店内に設置されている投函ボックス(ユーカリが丘地域で福祉や環境保全などを目的に活動をしている団体名がついたボックス)に、毎月11日のレシート(黄色い)や投函カードを自由に投函してもらい、レシート金額の1%と投函カードの枚数(1枚100円)を商品に変えて各団体に寄贈するキャンペーンです。ユーカリが丘地区社協のボックスもありますので、ご協力をお願いいたします。

編集後記

今年は本格的な冬が来る前に、春の訪れが来てしまったかのように暖かい日々が続いています。3月・4月はいろんな出会いや別れの季節。それぞれの想いを大切に、そして新たな目標に向かって成長し、飛躍していきたいと思ふ今日この頃です。

K. S.